

令和7年産米 栽培記録簿(直播) (GAP確認シート付) ～JA米基準～



令和7年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート①

地 区		生産組合
氏 名		
住 所 ・ 電 話	富山県下新川郡 TEL () -	
品 種 名		
出 荷 区 分	出荷契約米 ・ 加工用米 ・ 備蓄米 米粉用米 ・ 輸出用米 ・ 飼料用米	

- ★ 提出は、収穫後、出荷前までお願いします。
- ★ 出荷の有無を問わず、生産者全員記帳・提出をお願いします。
- ★ 作業を終えたら、忘れずに記帳しましょう。

JAみな穂 栽培記録簿

検索

ホームページからダウンロードもできます！



種 子	購入先： JA ・ その他 ()
	数 量： kg(消毒種子 ・ 未消毒種子)
	播種量： kg /10a
	コーティング種類 カルパー ・ 鉄 ・ 乾田 ・ リゾケア
	コーティング 個人 ・ 委託 ()

区分	作業名等	作業月日等
本 田 管 理	耕 起	月 日～
	荒 代 か き	月 日～
	代 か き	月 日～
	播 種	月 日 ～ 月 日
	中 干 し	月 日 ～ 月 日
	出 穂 期	月 日～

作 業 名	作業月日	
収 穫	月 日～	個人・委託()
乾燥・調製	月 日～	個人・委託()

出 荷 日	月 日 ～
-------	-------

※JA記入

記録簿確認

確認者氏名

(地区担当者)

安全安心担当者

検 印

令和7年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート②

品 種		区 分	出荷契約米・加工用米・備蓄米 米粉用米・輸出用米・飼料用米
面 積	a		

氏 名 _____

※設問に該当する場合は、右側のチェック欄に✓を記入して下さい。

【 作付け計画 】

チェック時期
(目安) チェック ✓

農事座談会への参加やパンフレット（直播特報等）の活用などにより情報収集しましたか。	3月	
経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。	3月	

【 播種作業 】

播種機の播種量・施肥量を事前に点検、確認しましたか。	4～5月	
一筆毎（10a単位）に種子・肥料の落下量が適切か確認しましたか。	4～5月	
作業終了時、品種の切り替え時に播種機の掃除を行いましたか。	4～5月	

【 土づくり 】

土づくり資材（ケイ酸質資材等）や有機物（堆肥、緑肥等）の施用による土づくりを行いましたか。 【とやまGAP14】	4月	
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。 【とやまGAP36】	前年11月～	

【 肥料の適正使用 】

基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。 【とやまGAP16】	5月	
生育量に応じて、適正に追肥（穂肥）を施用しましたか。 【とやまGAP18】	7月	
肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記帳をしましたか。 【とやまGAP34】	随時	

【 登熟期間の湛水管理 】

出穂期から20日間の湛水管理（田面水の深さ2～3cm程度）を行いましたか。（稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制） 【とやまGAP31】	8月～9月	
---	-------	--

区 分	チェック	肥 料 名	施 用 月 日	施 用 量
土づくり		珪酸石灰（粒）	月 日～	kg/10a
		シリカパンチF		
		アサヒニューテツ		
			月 日～	kg/10a
		発酵ケイフン（粒）		
基 肥		苦土重焼燐	月 日～	kg/10a
		基肥206号	月 日～	kg/10a
		LPSS直播コシヒカリ（側条施用）		
中間追肥		エスアイ加里らくだ	月 日～	kg/10a
穂 肥		①追肥3号	月 日～	kg/10a
		②追肥3号	月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a

区 分	チェック	農 薬 名	使 用 月 日	希釈倍数	使用量
種子消毒		モミガードC・DF（塗抹処理）	_____	7.5倍	_____
			月 日～	倍	
コーティング		カルパー粉粒剤16	月 日～	_____	乾籾重量の等倍
		タチガレエースM粉剤	月 日～	_____	乾籾重量の3%
		ルーチンシードFS	月 日～	_____	乾籾1kg/6～12ml
		ヨーバルシードFS	月 日～	_____	乾籾1kg/11ml
		エバーゴルシードFS	月 日～	_____	乾籾1kg/10ml

区 分		チェック	農 薬 名	使 用 月 日	希釈倍数		使用量
除草剤			ベルーガ1キロ粒剤	月 日～			kg/10a
			ディオーレ1キロ粒剤	月 日～			kg/10a
				月 日～			kg/10a
				月 日～			/10a
				月 日～			/10a
本田防除（防除方法を○で囲って下さい）	粒剤		ルーチン粒剤	月 日～			kg/10a
				月 日～			kg/10a
	粉剤		①ブラシントレバリダ粉剤DL（共通）	月 日～			kg/10a
			②ラブサイドキラップ粉剤DL（共通）	月 日～			kg/10a
			③スタークル粉剤DL（早生）	月 日～			kg/10a
				月 日～			kg/10a
	液剤		①モンカットフロアブル＋トレボーンEW（早生）	月 日～	倍	倍	ℓ/10a
			①モンカットフロアブル＋スタークル液剤10（中生、晩生）	月 日～	倍	倍	ℓ/10a
			②ラブサイドK2フロアブル（共通）	月 日～	倍	倍	ℓ/10a
			③スタークル液剤10（早生）	月 日～	倍	倍	ℓ/10a
				月 日～	倍	倍	ℓ/10a
	無人ヘリ ドローン		①モンカットフロアブル＋トレボーンエアー（早生）	月 日～	倍	倍	0.8ℓ/10a
			①モンカットフロアブル＋スタークル液剤10（中生、晩生）	月 日～	倍	倍	0.8ℓ/10a
			②ラブサイドK2フロアブル（共通）	月 日～	倍	倍	0.8ℓ/10a
			③スタークル液剤10（早生）	月 日～	倍	倍	0.8ℓ/10a
				月 日～	倍	倍	0.8ℓ/10a

その他取組作業のチェック項目（該当作業にチェックをお願いします）

☐ 専用機械で肥料を播種と同時に施用している。	☐ 専用機械で除草剤を播種と同時に施用している。
☐ 農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。	☐ 専用機械で苗箱施薬を播種と同時に施用している。
☐ スマート農機の活用(水管理システム・GPS付き農機・Z-GIS等の営農管理システム)	

【 農薬の適正使用 】

チェック時期 チェック
(目安) ✓

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。 【とやまGAP25, 27】	随時	
農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。 【とやまGAP9】	随時	
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。 【とやまGAP17】	5月～6月	
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。 【とやまGAP30】	随時	
動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。 【とやまGAP26】	随時	

【 廃プラスチックなどの適正処理 】

肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。 【とやまGAP35】	随時	
---	----	--

【 燃料の適正管理 】

燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。 【とやまGAP33】	随時	
--	----	--

【 収穫・乾燥・調製 】

コンバインや施設内等の清掃・点検を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。 【とやまGAP37】	8月～9月	
籾黄化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。	8月～9月	
米穀収穫後、乾燥は適切な温度管理で行いましたか。 【とやまGAP39】	9月～	
玄米の出荷容器の記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。【とやまGAP40】	10月～	

『とやまGAP』の実践でより良い農業を！

①安全な農産物の生産

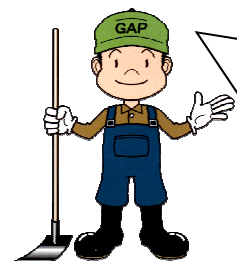
生産した農産物が人の健康にとって安全かどうか

②環境の保全

農業活動に伴って周辺環境が脅かされていないかどうか

③農業者の安全確保

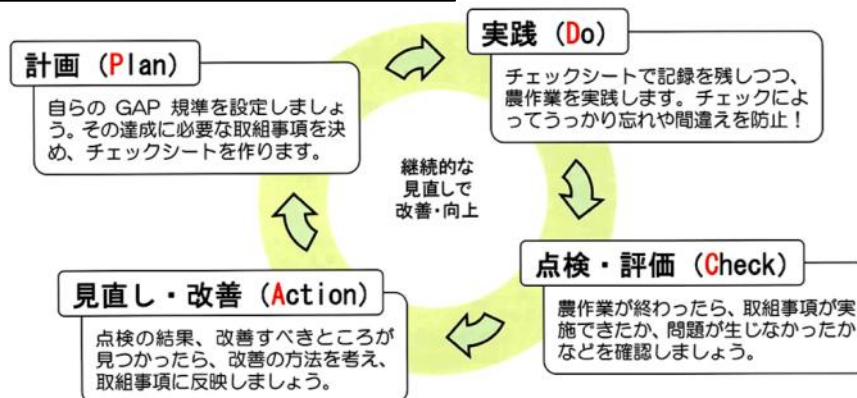
農業者の安全が確保されているかどうか



上記3つの視点から農業生産活動に潜むリスク(危険)を事前に把握・分析しておき、リスクの発現を未然に防ぐことで、結果として『良い』農業生産活動とする取組みが『GAP』です。

『GAP』の実践

『計画』に対し『実践』、『点検・評価』、『見直し・改善』を繰り返す『PDCAサイクル』を用いた工程管理を行っていくことがGAPの実践になります。



～ Good Agricultural Practice で、安全・安心みな穂米を消費者に～
良い 農業の 実践

JA米の条件

- ①品種が確認できた種子により栽培した米穀
- ②登録検査機関で受検された米穀
- ③栽培記録簿の記帳内容をJAが確認し適切であると認めた米穀



作業終了後の記入を徹底しましょう。

記入漏れやGAPシートのチェック漏れに注意しましょう。

令和4年度米 栽培記録簿・GAPチェックシート

氏名 みな穂太郎

品 種	コシヒカリ	区 分	出荷契約米 加工用米・備蓄米
面 積	120 a		米粉用米・輸出用米・飼料用米

種 粳	購入先：	みな穂農協
	数 量：	20 kg
	播種日：	4 月 13 日～
苗	購入先：	
	数量：	箱
栽植密度	株 数：	70 株植え

区分	作業名	作業月日
本田管理	耕 起	4 月 10 日～
	荒 代 か き	5 月 3 日～
	代 か き	5 月 9 日～
	田 植 え	5 月 12 日～
	中 干 し	6 月 10 日～
	出 穂 期	8 月 3 日～

【 作付け計画 】

農事座談会への参加やパンフレット（営農情報、稲作ごよみ等）の活用などにより情報収集しましたか。	3月	○	3/30
経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。	3月	○	3/30
自家採取種子を使用せず、品種ごとに区別して作業しましたか。	4月	○	4/30

【 土づくり 】

土づくり資材（ケイ酸質資材等）や有機物（堆肥、緑肥等）の施用による土づくりを行いましたか。 【とやまGAP13】	4月	○	4/5
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。 【とやまGAP34, 35】	前年11月～		/

【 肥料の適正使用 】

基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。 【とやまGAP15】	5月	○	5/12
生育量に応じて、適正に追肥（穂肥）を施用しましたか。 【とやまGAP17】	7月		/
肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記帳をしましたか。 【とやまGAP33】	随時		/

【 登熟期間の湛水管理 】

出穂期から20日間の湛水管理（田面水の深さ2～3cm程度）を行いましたか。（稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制） 【とやまGAP30】	8月～9月	○	8/30
---	-------	---	------

区 分	チエツク	肥 料 名	施 用 月 日	施 用 量
土づくり		珪酸石灰（粒）	4 月 5 日～	120 kg/10a
	○	シリカパンチF		
		トップバッター		
		アサヒニューテツ		
		発酵ケイフン（粒）	月 日～	kg/10a
基 肥		苦土重焼燐	月 日～	kg/10a
		基肥206号	5 月 12 日～	38 kg/10a
	○	Jコートコシヒカリ1号		
		Jコートコシヒカリ2号		
中間追肥	○	エスアイ加里らくだ	6 月 25 日～	15 kg/10a
穂 肥		①追肥3号	月 日～	kg/10a
		②追肥3号	月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a
			月 日～	kg/10a

区 分		チェック	農 薬 名	使 用 月 日	使 用 量
種子消毒			モミガードC・DF（塗抹処理）	月 日～	7.5 倍液
				月 日～	
育苗防除等			イチバン乳剤	月 日～	倍液
			ケミクロンG粒剤	月 日～	倍液
苗箱施薬			ルーチンブライト箱粒剤	月 日～	g /箱
				月 日～	g /箱
除草剤		○	かねつぐ粒剤（初期）	5 月 12 日～	1 kg/10a
			マーシェット粒剤（初期）	月 日～	kg/10a
		○	ボデーガードプロ粒剤（一発）	5 月 25 日～	1 kg/10a
			ボデーガードプロジャンボ（投込一発）	月 日～	g/10a
			アクシズMX粒剤	月 日～	kg/10a
				月 日～	
本田防除 （防除方法に○を付けて下さい）	粉 剤		①ブラシントレバリダ粉剤DL（共通）	月 日～	kg/10a
			②ラブサイドキラップ粉剤DL（共通）	月 日～	kg/10a
			③スタークル粉剤DL（早生）	月 日～	kg/10a
				月 日～	kg/10a
	液 剤		①モンカットフロアブル + トレホンEW（早生）	月 日～	ℓ/10a
			①モンカットフロアブル + スタークル液剤10（中生、晩生）	月 日～	ℓ/10a
			②ラブサイドキラップフロアブル（共通）	月 日～	ℓ/10a
			③スタークル液剤10（早生）	月 日～	ℓ/10a
	無人ヘリ ドローン		①モンカットフロアブル + トレホンエア（早生）	月 日～	0.8 ℓ/10a
		○	①モンカットフロアブル + スタークル液剤10（中生、晩生）	8 月 3 日～	0.8 ℓ/10a
		○	②ラブサイドフロアブル + キラップフロアブル（共通）	8 月 10 日～	0.8 ℓ/10a
			③スタークル液剤10（早生）	月 日～	0.8 ℓ/10a
作 業 名		作 業 月 日			
収 穫		9 月 10 日～		個人委託（ ）	
乾燥・調製		9 月 10 日～		個人委託（みな穂農協）	

【 農薬の適正使用 】

チェック時期
(目安) ○ 日

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。 【とやまGAP24, 26】	随時	○	8/7
農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。 【とやまGAP8】	随時		/
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。 【とやまGAP16】	5月～6月	○	5/25
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。 【とやまGAP29】	随時	○	8/7
動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。 【とやまGAP25】	随時		/

【 廃プラスチックなどの適正処理 】

肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。 【とやまGAP34】	随時	○	6/4
---	----	---	-----

【 燃料の適正管理 】

燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。 【とやまGAP32】	随時	○	9/5
--	----	---	-----

【 収穫・乾燥・調製 】

コンバインなどの清掃・点検を行い、収穫の際に異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。【とやまGAP36】	8月～9月	○	8/20
籾黄化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。	9月		/
施設内の清掃を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。【とやまGAP36】	8月～9月		/
乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理をしましたか。【とやまGAP36, 38】	8月～9月		/
乾燥は適切な温度管理で行いましたか。【とやまGAP38】	9月～		/
玄米の出荷容器の記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。【とやまGAP39】	9月～		/

その他取組作業のチェック項目（該当作業にチェックをお願いします）

☐	専用機械で肥料を播種と同時に施用している。	☐	専用機械で除草剤を播種と同時に施用している。
☐	農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。	☐	専用機械で苗箱施薬を播種と同時に施用している。
☐	スマート農機の活用(水管理システム・GPS付き農機・Z-GIS等の営農管理システム)		